あいのり

Monthly

2025.9.30

9月のマーケット概要

9月のマーケットは、米雇用市場の緩さと下げ渋るインフレ、それに伴うFRBの政策金利の動向に注目が集まった一方で、米国財政赤字によるdebasement（米ドルの信認低下）を意識した相場になりました。

雇用について、9月5日に発表された雇用統計では、失業率は4.3%で前月比+0.1%悪化し、8月非農業部門雇用者数は2.2万人と予想に大きく届かなかったこと、更に6月の数値が下方修正され、マイナスとなったことは、2020年12月以来のことでした。また求人件数についても2020年のコロナ危機前の水準に落ち込んできています。このように弱い雇用市場ではあるもののそれでも大きく悪化しないのは、不法移民を国外退去させ労働者数が減ってきていることが影響している可能性があります。インフレ指標は、米CPIは総合で2.9%、コアが3.1%と目標の２%には遠く下げ渋っています。

弱い雇用の数値と下げ渋る物価の中でFOMCでの政策決定が非常に注目されましたが、大方の予想通り、政策金利を0.25%引き下げました。生成AI関連が牽引し株価の史上最高値圏での推移、また経済も全体では特段問題なく好調の中で、FRBが利下げに踏み切ったことから株式市場は好感し、翌日から史上最高値を更新しています。今回発表された経済予想サマリーでは、大きな変更はなかったものの、実質GDPの今年、来年、再来年の数値が上方修正されたことも市場の安心感に結び付いたと思われます。

日本では、日銀金融政策決定会合が開催され、政策金利は据え置きとなったものの、保有中のＥＴＦを年間時価で6,200億円、簿価で3,300億円売却する方針が打ち出されました。但し、これは仮に保有ＥＴＦ37兆円（簿価）全て売却した場合でも112年にも及び、殆どマーケットに影響が出ない水準です。政治面では、石破首相が辞任を発表し、それに続く自民党総裁選（10/4）が注目されましたが、どの候補が選ばれても緊縮財政政策ではなくなるとの期待から日経平均は史上最高値を更新し、45,000円手前で引けました。

弊社ファンドは、引き続きマーケットに対して慎重スタンスで臨んでおりますが、今月はゴールドの強い買い需要に支えられ、同関連ファンドなどが大きく上昇に寄与しました。

今後につきましては、懸念材料は、株式が歴史的に割高な状態にあること、弱い米雇用市場、また例年10月は株式市場が弱い月であることなどですが、9月に調整が殆どなかった為、調整を期待している投資家も多いことや、次回ＦＯＭＣでも再度政策金利を引き下げる期待もあり、想定外の事象が起きない限り、年末にかけては大きな下落は見られないかもしれません。引き続き経済指標やマーケットを注視しながら対応していく予定です。

左記のQRコードよりXアカウントにアクセスいただけます。
パリミキアセットマネジメント【公式】
@PM_Asset

パリミキアセットマネジメント
ファンドマネージャー
宇野 隆一郎

PARIS MIKI ASSET MANAGEMENT

2025 年 年末にかけての相場見通し（2025.10.6）

年末の目標数値を年初に設定した目標値へ戻します。

・S&P500（米国）：　6,900p 年末比＋17%（←4 月の変更後は 5,900 p）
・日経平均（日本）：　45,000 円　年末比＋13%（←同　41,000 円）
※但し、両指数共、年間で高値から▲10～15%の下落局面を想定。（←既に実現済）

上記の通り、年末の目標値を年初に掲げた目標値へ戻すことにしました。今年 4 月のあいのりマンスリー（https://pmam.co.jp/assets/2025/04/20250331_ainori_monthly.pdf）において、トランプ関税の発表により露呈した米国の諸問題（財政赤字と債務問題、防衛力問題、国内格差問題）から、一時的な物価高騰、企業業績の悪化と雇用の低下、消費者センチメントの悪化が要因で、関税の変化がなければ、景気後退し株価は一時的に反発するものの、10 月頃までは軟調かレンジで推移すると考えました。しかしその前提が崩れたことが、年初の目標値へ戻すことになった大きな理由です。

関税発表の一週間後には、90 日猶予が発表されました。これをきっかけに、年初から▲20%前後まで下落した株価は回復し、数か月後には史上最高値を更新するまで戻しました。
9 月末時点では、年初来で S&P500+14%、日経平均+15%で推移しています。

（Trading View より）

残りの 3 か月ですが、例年 10 月は下旬に投資信託の決算があることなどが要因で、下落することが多い月です。しかし、以下の理由により、**年末にかけて調整はあっても値幅・時間共に大きくはならない**のではと考えます。

① 流動性と買い意欲

M2 など市場流動性は史上最高水準にあり、金融市場は健全で緩和的であること。
待機資金とみなされる MMF の残高が、史上最高の 7.7 兆ドルまで潤沢に積みあがっていることや、今年は 4 月以降一方向の上昇相場となっているものの、乗り切れていないファンドが多く、年末にかけて下がったら買いを待っている参加者が多く存在すると思われること。

② 労働市場は弱いが経済は安定的

現在の労働市場は、生成 AI による生産性向上など、構造的な変化となっている可能性がありますが、ここ数か月の米雇用市場は明らかに弱くなっています。但し、失業率は未だ 4.3%と歴史的に低い水準にあり、年末までは持ちこたえる可能性があること。

③　**FRB の政策金利引き下げ期待**

今般、株価は史上最高値水準で経済も大きな悪化要因が見られないにも関わらず、政策金利の引き下げに踏み切ったこと。またマーケットは更に引き下げ期待があること。

短期（3 ヶ月）は、上記の通り、多少の調整はあっても最終的には上昇を見ているものの、以下の事象などが顕在化した場合、調整も大きくなると考えます。

・失業率の急激な悪化

雇用が急激に悪化（既に黒人、若年層の失業率は上昇の傾向が見られます）し、景気後退懸念の浮上と同様、FRB が大幅な利下げを強いられる状況にある場合。

・米国債務

既に各国の 30 年債の利回りは下げ渋っていますが、債務問題に焦点があたり、長期金利の上昇と通貨の切り下げが起きるなど、市場が急激に混乱する場合。

・インフレ再燃

一時的とみていますが、インフレが再度上昇し始め、政策金利の再考が余儀なくされる場合。

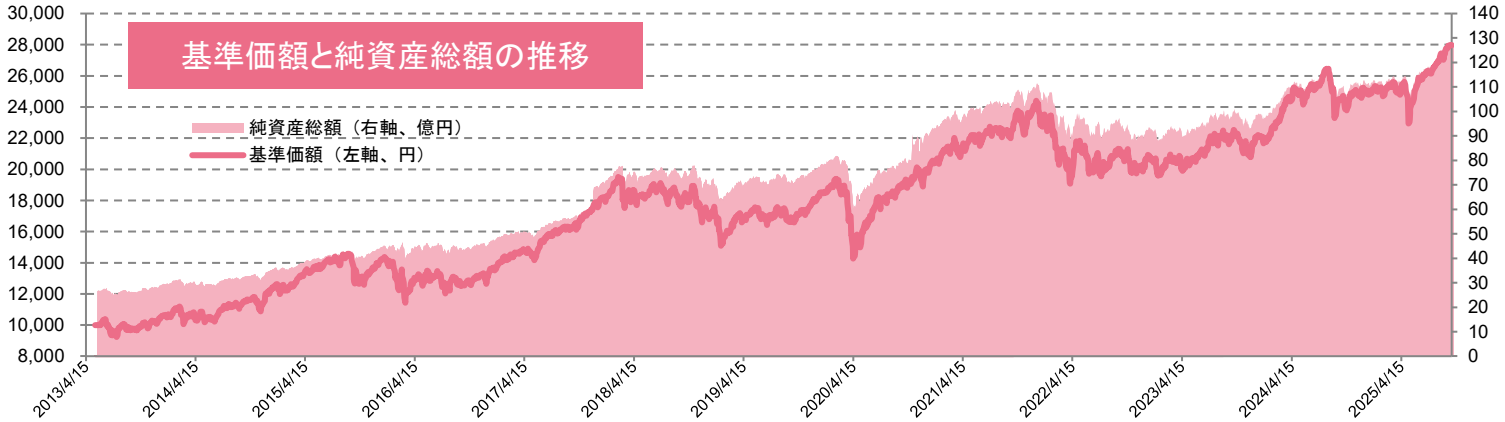
日本株については、高市自民党総裁が誕生したことにより強気スタンスですが、**上昇一服後は、冷静さを取り戻し、年末にかけては 45,000 円辺りになるのでは**と考えます。

一方、日米金利差の縮小などから、中期的には円高をメインシナリオとしており、年末までに円高へ転換した場合は、調整局面を迎えると考えます。

現時点で個人的に考えていることを述べましたが、状況が変わり次第、見通しは変えていく予定です。

パリミキアセットマネジメント
ファンドマネージャー
宇野 隆一郎

コドモファンド
変幻自在ずーっとおまかせ



期間別騰落率（%）

1ヵ月	3ヶ月	6ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年	設定来
3.80%	9.84%	14.27%	15.15%	17.28%	45.44%	48.82% （複利年率） （8.27%）	130.87% （複利年率） （8.72%）	190.39% （複利年率） （8.93%）

コドモファンド概況

基準価額	29,039円	設定日	2013年4月15日
純資産総額	13,151百万円	信託期間	無期限
ボラティリティ（1年）	8.19%	決算日	毎年2月25日（休業日の場合は翌営業日）
投資信託財産の構成比率	パリミキ・ファミリーオフィス・マザーファンド（100%）		

コドモファンドにかかわる費用

運用管理費用 （信託報酬）	年率1.10%（税抜き1.0%） マザーファンドの組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担　年率1.75±0.5%（税込/概算）

パリミキ・ファミリーオフィス・マザーファンド

【9月の運用コメント】

個別ファンドの騰落率については、上昇の寄与度が大きかったピクテ・ゴールド（為替ヘッジ付き）が騰落率で+11.86%、コンウェーブ・ゴールドが同+26.01%、ニッポングロースが同+5.02%、モーラント・ライトが同+2.00%などでした。一方、下落に寄与したのはトリゴンの騰落率▲0.72%などでした。

9月の売買は特になく、キャッシュ比率は前月同様の15%台でした。

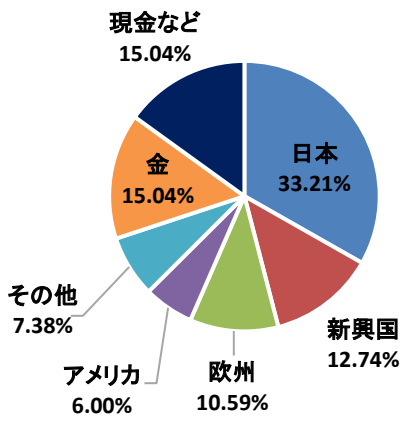
為替が、対ドルで約2円（+1.33%）、対ユーロでは約3円（+1.75%）円安へ推移し、ポートフォリオ全体を0.45%引き上げたこととなります。

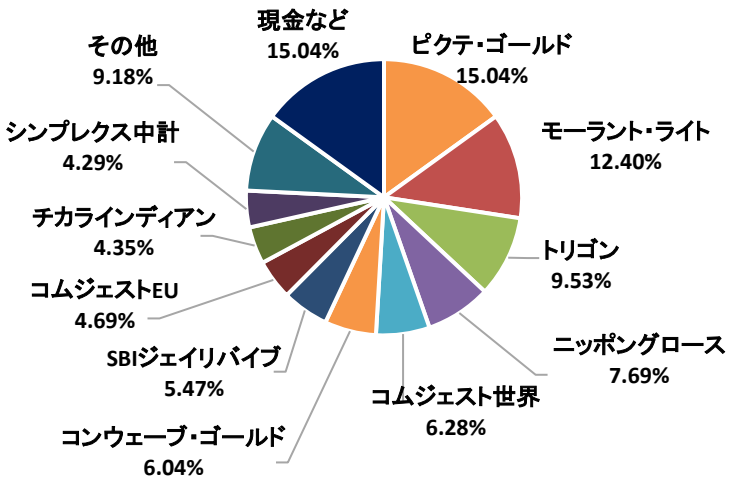
現状の外貨資産リスク（33%）に対する為替ヘッジ率は、11%で、全体のポートフォリオの内、ヘッジ後の外貨リスクは30%です。

パリミキ・ファミリーオフィス・マザーファンドの概況

純資産総額	13,174百万円	組入ファンド数	全15本

資産構成比率（左：国別、右：ﾌｧﾝﾄﾞ別）





組み入れファンドTOP5
基準価額の前月比

ピクテ・ゴールド	11.86%
モーラント・ライト	2.00%
トリゴン	-0.72%
ニッポングロース	5.02%
コムジェスト世界	1.76%

浪花おふくろファンド
じっくりどっしり長期運用

【9月の運用コメント】

基準価額は月間で+2.89%上昇し年初来で+7.28%となりました。

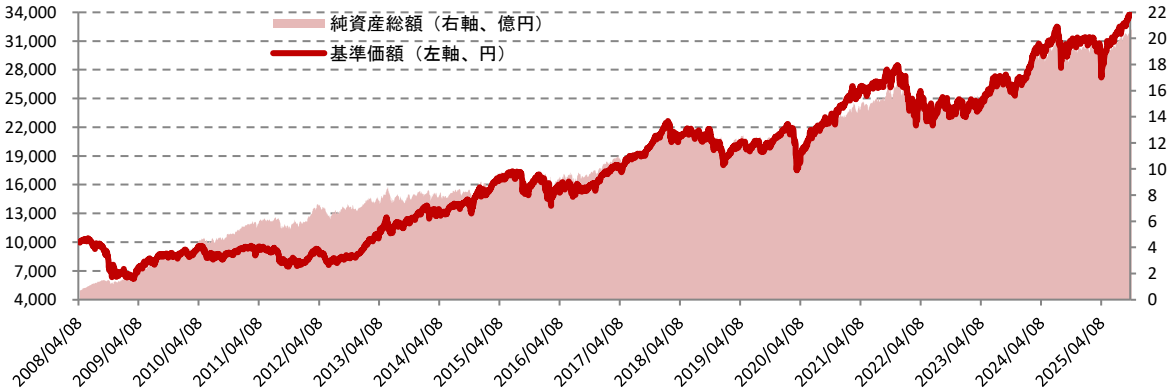
個別ファンドの騰落率については、上昇寄与が高かったのはコンウェーブ・ゴールドが騰落率で+26.01%、SBIジェイリバイブが同+4.13%、コムジェスト世界が同+1.76%などでした。下落寄与の銘柄はトリゴンの騰落率▲0.72%などでした。

9月の売買は、特にございませんでした。キャッシュ比率は前月13.90%から12.02%へ減少しております。

為替が、対ドルで約2円（+1.33%）、対ユーロでは約3円（+1.75%）円安へ推移したことにより、ポートフォリオ全体で0.74%引き上げたこととなります。

現状の外貨資産リスク（52%）に対する為替ヘッジ率は、7%で、全体のポートフォリオの内、ヘッジ後の外貨リスクは49%です。

基準価額と純資産総額の推移



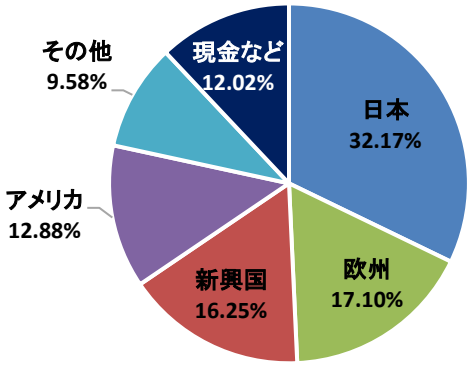
組み入れファンドTOP5 基準価額の前月比

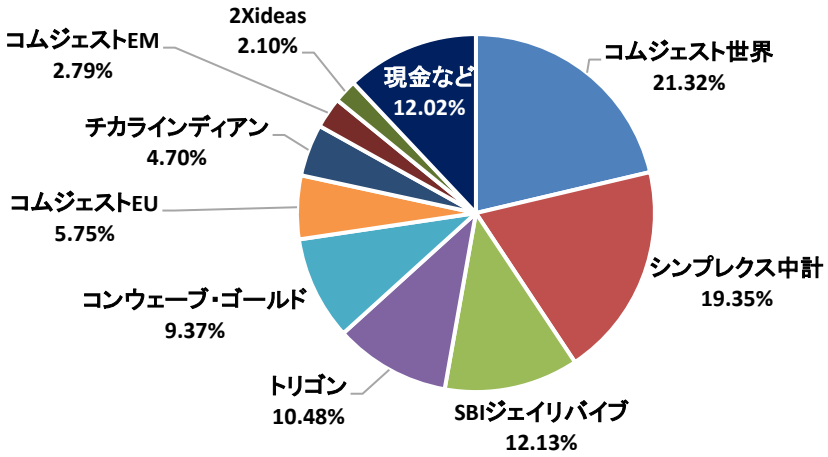
コムジェスト世界	1.76%
シンプレクス中計	1.31%
SBI ジェイリバイブ	4.13%
トリゴン	-0.72%
コンウェーブ・ゴールド	26.01%

浪花おふくろファンド概況

基準価額	33,692円	設定日	2008年4月8日
純資産総額	2,060百万円	信託期間	無期限
ボラティリティ（1年）	10.94%	決算日	毎年3月3日（休業日の場合は翌営業日）

資産構成比率（組入ファンド全9本）（左：国別、右：ﾌｧﾝﾄﾞ別）





期間別騰落率（%）

1ヵ月	3ヶ月	6ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年	設定来
2.89%	6.85%	10.49%	7.28%	8.64%	44.27%	48.21%（複利年率）(8.18%)	125.97%（複利年率）(8.49%)	236.92%（複利年率）(7.19%)

浪花おふくろファンドにかかわる費用

運用管理費用（信託報酬）	年率0.99%（税抜き0.9%） 組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担　年率1.65±0.5%（税込/概算）

コドモファンド・浪花おふくろファンドにかかわる共通のその他費用・手数料

信託財産に関する租税、投資対象とする投資信託証券の売買に発生する売買委託手数料及びその手数料に対する消費税相当額等の費用、外貨建資産の保管等に要する費用は、お客さまの負担として、信託財産中から実費を負担します。

設定・運用・販売は株式会社パリミキアセットマネジメント／金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第2727号

※比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

組入れファンドの投資銘柄

◆組入れファンドのうち、公開されている投資銘柄の組入れ比率TOP10を記載しております。

※1 ニッポングロースは投資銘柄TOP5のみ公表されてるため、公表されている投資銘柄TOP5を記載しております。

※2 シンプレクス中計は投資銘柄が公表されていないため、公表されている投資銘柄TOP5の投資セクターを記載しております。

※3 トリゴン、ピクテ・ゴールドは投資銘柄が公表されていないため、公表されている投資セクター比率を記載しております。

パリミキFOM＝パリミキ・ファミリーオフィス・マザーファンド

SBIジェイリバイブ	パリミキFOM 浪花おふくろ	
日精エー・エス・ビー機械	日本	3.86%
ＪＣＵ	日本	3.82%
ドウシシャ	日本	3.78%
扶桑化学工業	日本	3.74%
東京精密	日本	3.51%
サトー	日本	3.40%
エレコム	日本	3.35%
ＳＢＳホールディングス	日本	3.32%
トレジャー・ファクトリー	日本	3.19%
デクセリアルズ	日本	3.19%

SBIジェイクール	パリミキFOM	
網屋	日本	3.73%
守谷輸送機工業	日本	3.73%
アイドマ・ホールディングス	日本	3.70%
湖北工業	日本	3.68%
ＩＮＴＬＯＯＰ	日本	3.68%
スマートドライブ	日本	3.61%
ワンキャリア	日本	3.58%
ｅＷｅＬＬ	日本	3.58%
Ｆｉｎａｔｅｘｔホールディングス	日本	3.40%
ビーイングホールディングス	日本	3.37%

SBIネクストジャパン	パリミキFOM	
オプテックスグループ	日本	3.92%
メック	日本	3.83%
ジャパンマテリアル	日本	3.80%
前田工繊	日本	3.53%
第一工業製薬	日本	3.52%
アズーム	日本	3.45%
ＭＴＧ	日本	3.42%
フィックスターズ	日本	3.39%
トランザクション	日本	3.39%
インソース	日本	3.36%

モーラント・ライト	パリミキFOM	
Sumitomo Electric Industries	日本	3.40%
Sumitomo Mitsui Trust	日本	3.30%
Sumitomo Mitsui Financial Group	日本	3.10%
Concordia Financial Group Ltd	日本	3.00%
Honda Motor Co. Ltd	日本	3.00%
Dai-Ichi Life Holdings Inc	日本	2.90%
Mitsubishi UFJ Financial Group	日本	2.90%
Inpex	日本	2.70%
Tv Asahi	日本	2.40%
Fuji Media Holdings	日本	2.30%

シンプレクス中計 ※2	パリミキFOM 浪花おふくろ
卸売業	6.81%
サービス業	6.74%
化学	6.32%
情報・通信業	6.08%
化学	6.03%

ニッポングロース ※1	パリミキFOM	
Mitsubishi UFJ Financial Group Inc	日本	6.96%
Sumitomo Mitsui Financial Group Inc	日本	6.95%
Mizuho Financial Group Inc	日本	6.00%
ITOCHU Corp	日本	5.88%
Penta-Ocean Construction Co Ltd	日本	4.75%

トリゴン ※3	パリミキFOM 浪花おふくろ
Financials	38.20%
Consumer	20.90%
Energy	10.30%
IT	8.20%
Industrials	5.00%
Health Care	4.70%
Materials	2.70%
Real estate	2.50%
Telecoms	1.30%
Utilities	1.20%

コムジェストEU	パリミキFOM 浪花おふくろ	
シュナイダーエレクトリック	フランス	6.23%
ASMLホールディング	オランダ	6.03%
エア・リキード	フランス	5.46%
SAP	ドイツ	4.21%
エシロールルックスオティカ	フランス	4.09%
インディテックス	スペイン	4.08%
レレックス	イギリス	4.02%
アマデウスITグループ	スペイン	3.57%
ロレアル	フランス	3.50%
ロンドン証券取引所グループ	イギリス	3.40%

コムジェスト世界	パリミキFOM 浪花おふくろ	
台湾セミコンダクター（ＴＳＭＣ）	台湾	9.43%
マイクロソフト	アメリカ	7.00%
リンデ	イギリス	5.57%
ビザ	アメリカ	5.02%
アルファベット	アメリカ	4.81%
エシロールルックスオティカ	フランス	4.71%
ジョンソン・エンド・ジョンソン	アメリカ	4.68%
インテュイット	アメリカ	4.34%
アマゾン・ドットコム	アメリカ	4.07%
ASMLホールディング	オランダ	3.61%

ストーン・ヘイジ	パリミキFOM	
Alphabet	アメリカ	7.40%
GE Aerospace	アメリカ	6.00%
Microsoft	アメリカ	5.90%
Essilor Luxottica	フランス	5.70%
Amazon	アメリカ	5.40%
Netflix	アメリカ	5.30%
Amphenol	アメリカ	4.80%
ASML	オランダ	4.80%
Cadence	アメリカ	4.30%
Mastercard	アメリカ	4.30%

2Xideas	パリミキFOM 浪花おふくろ	
Halozyme	North America	2.30%
The New York Times	North America	2.20%
Neurocrine Biosciences	North America	2.10%
Keyence	Asia-Pacific	2.10%
Brown & Brown	North America	2.10%
Autodesk	North America	2.00%
Ferguson	North America	2.00%
Talanx	Europe	2.00%
KLA	North America	1.90%
Experian	Europe	1.90%

Lumen Vietnam	パリミキFOM	
Hoa Phat Group Joint Stock Co.	ベトナム	5.76%
Masan Group	ベトナム	5.61%
Mobile World	ベトナム	5.14%
Baoviet Holdings	ベトナム	4.94%
Vietnam Prosperity Joint Stock Commercial Bank	ベトナム	4.75%
GEMADEPT Corporation	ベトナム	4.40%
Vietnam Dairy Product Corp.	ベトナム	4.28%
FPT Corp	ベトナム	4.12%
VietNam JSC Bank for Ind & Trd	ベトナム	3.92%
Saigon Thuong Tin CJSBank	ベトナム	3.53%

コムジェストEM	浪花おふくろ	
台湾セミコンダクター（TSMC）	台湾	9.85%
テンセント・ホールディングス（騰訊控股）	中国	8.04%
デルタ電子	台湾	7.41%
メルカドリブレ	アルゼンチン	6.01%
ネットイース(網易)	中国	3.93%
ディスカバリー	南アフリカ	3.25%
アンタ・スポーツ	中国	3.21%
バジャジ・ファイナンス	インド	3.11%
SKハイニックス	韓国	3.09%
AIAグループ	香港	3.02%

チカラ インディアン	パリミキFOM 浪花おふくろ	
Kotak Mahindra Bank Ltd	インド	8.90%
Delhivery Ltd	インド	6.50%
Godrej Properties Ltd	インド	5.90%
Eternal Ltd	インド	5.90%
HDFC Bank Ltd	インド	5.40%
ICICI Bank Ltd	インド	5.20%
Narayana Hrudayalaya	インド	4.70%
FSN E-Commerce	インド	4.70%
Makemytrip	インド	4.70%
Swiggy Ltd	インド	4.40%

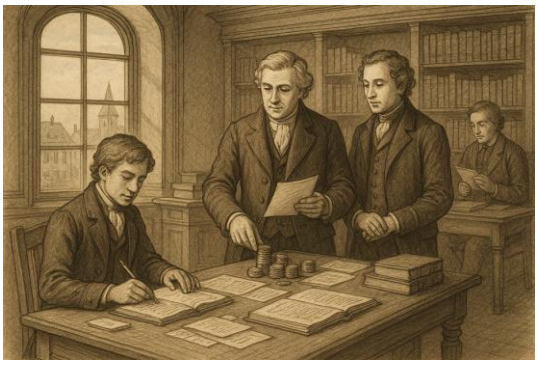
コンウェーブ・ゴールド	パリミキFOM 浪花おふくろ	
Barrick	カナダ	9.29%
Newmont Corp.	アメリカ	6.84%
Gold Fields Ltd.	南アフリカ	5.03%
AngloGold Ashanti	イギリス	4.36%
Pan American Silver	カナダ	4.27%
Equinox Gold	カナダ	3.59%
Eldorado Gold	カナダ	3.34%
Coeur Mining	アメリカ	3.15%
Alamos Gold	カナダ	2.99%
Ishares Physical Silver	アイルランド	2.86%

ピクテ・ゴールド※3	パリミキFOM
金	100%

ファミリーオフィスの知恵

ヨーロッパから始まった「家族のお金の守り方」

ファミリーオフィスという言葉は少し難しく聞こえますが、要するに「家族みんなで資産を守り、次の世代に受け継ぐための仕組み」です。ヨーロッパでは昔からこの考え方がありました。



例えば、イタリアのメディチ家は銀行業を営み、家族の資産を計画的に管理しました。ロスチャイルド家はヨーロッパ中に拠点を持ち、国の財政や鉄道建設を支えるお金を動かしました。彼らは「一代で使い切るお金」ではなく、「何世代にもわたって受け継ぐ資産」として考え、投資をしながら社会にも役立てたのです。

「なんだ、金持ちのための仕組か。」と言われるかもしれませんが、ファミリーオフィスの知恵は、一部の大富豪だけのものではありません。どの家庭にも応用できるのです。

ファミリーオフィスの知恵を日常に取り入れる

それではファミリーオフィスの知恵について解説していきましょう。

まず大切なのは **優秀な人間に分散して投資を任せる**こと。自分で投資するのでは無く、世界中の優秀な人間を通じて様々な資産に、その時々の最適なバランスを取りながら運用する考え方です。これは大金持ちだけの話ではなく、一般の家庭でも「世界中の優秀な投資信託などを組み合わせる」といった形で応用できます。

手前みそになりますが、パリミキアセットマネジメントのファンドは、そんな本格的なファミリーオフィスの運用を、わずか一万円の資金から、年１パーセントの信託報酬で利用できる優れモノです。

次に 大事なのは**家族で話し合う**こと。欧米のファミリーオフィスでは「家族会議」を開いて、教育や老後、寄付など将来の計画を共有します。日本では家族の間でもお金の話はタブー視されてきましたが、どの家庭でも、年に一度くらい「わが家のお金の日」をつくり、教育費や老後資金を一緒に考えるだけで、安心感がぐっと高まると思います。

さらに **社会とつながる**ことも大切です。投資はそもそも「お金から自由になる」ために行うものです。しかし、運用が上手くいったらいったで、より増やしたいとさらにお金に執着してしまう事がよくあります。資金に余裕ができた時に、どんな社会貢献をしたいかを良く話し合っておく事で、お金への執着から解放され、社会や人々との繋がりをもたらしてくれます。良いファミリーオフィスが社会貢献に熱心なのも、このような人間の弱さ、お金の怖さを知っているからでしょう。パリミキアセットの「いかす」セミナーは、そんなお金を社会にどう活かすかを学ぶ機会です。

これからの日本金融に期待できること

残念ながら日本では多くのお金が銀行預金に眠ったままになっています。世界的に見ると日本の家計金融資産はとても大きいのですが、その多くが運用されず、低金利でほとんど増えないのが現状です。また、銀行や証券会社は「お客様の資産をどう守るか」よりも、自社の金融商品を売ることに力を入れがちです。さらに相続税や贈与税が高いため、「お金を次の世代にどう渡すか」を長期的に考えることが難しくなっています。その結果、一部の富裕層は資産を海外に移して、シンガポールやスイスのファミリーオフィスで管理するケースも増えているのです。

日本の家庭にファミリーオフィス的な発想が広がれば、2000 兆円を超える家計資産がもっと有効に活かされます。金融機関も「商品を売る会社」から「家族の未来を支えるパートナー」に変わっていくはずです。

ファミリーオフィスの「お金を優秀な人間に任せ、家族一緒に未来を考え、お金を社会にも役立てる」という考え方は、どの家庭にも応用できます。そうした意識が広がれば、日本の金融はもっと安心感があり、そして社会と調和する存在へと進化するでしょう。

(株)パリミキホールディングス
代表取締役会長
多根 幹雄

起承転結で新たなステージへ

熱い戦いが繰り広げられた世界陸上。メダルには届きませんでしたが、男子 400 メートルリレーで、日本のお家芸である華麗なバトンパスを垣間見ました。10 月から磯野前社長からバトンを受けた富田秀夫と申します。パリミキの経営参加以降、多根初代社長、磯野 2 代目社長によって、しっかり繋がれたバトンを握って走り出します。

三走の私は、起承転結で言えば、転の担当です。物語の文章構成である起承転結は、「漢詩の絶句」が由来で 4 句で一つの詩が構成されます。**第一句（起句）**で、うたい起こし、**第二句（承句）**で、これを受けて発展させ、**第三句（転句）**で、場面や視点を転じ、**第四句（結句）**で、これらを受けつつ全体を締めくくるというものです。パリミキの外から来た私は、まさに視点を転じ、新たな成長を遂げる礎を作ることが役割だと認識しています。パリミキアセットには、様々な経験を持つ新メンバー4 名が今年加わりました。この多様性と会社の風通しの良さで活発な議論が繰り広げられていますので、新たな飛躍を予感しています。

こう書くと、良き伝統が「転」による変化で失われることを心配されるかもしれません。しかし、「転」の句は「承」の句と表裏一体であり、別物であってはならず、一貫性が求められるとの指摘も。この点には十分配慮してまいります。

バトンを受けた私も、これまで勤務した会社ではバトンを渡してきました。
退任挨拶で、オードリー・ヘップバーンの名言「人は年を重ねると、自分に二つの手があることに気付きます。ひとつは自分を助けるための手、もう片方は他者を助けるための手だということに」を引いて、今後は、もう片方の手を少しでも動かしたいと述べました。

パリミキアセットは「ふやす」だけではなく、「いかす」ことも推奨するユニークな運用会社で、その理念は「他者を助けるための手」にもつながります。創業理念実現のため、社員一同努力してまいりますので、あいのり仲間の皆様からご支援いただければ幸いです。

代表取締役社長　富田 秀夫

パリミキアセット運用報告会 2025秋

2025年4月から2025年9月のマーケットは、トランプ大統領の相互関税の発表によるマーケットの大きな下落から始まりましたが、その後の各国との関税交渉、AI関連企業の積極的な設備投資、FRBによる利下げ再開などがあり、バブルといわれながらも米国株は史上最高値圏で推移しています。

一方で副作用としてのインフレ懸念、米国の財政赤字・債務問題、米ドル離れなどに焦点があたり、ゴールドの急伸などが目立ちました。日本では、インフレが定着する中、石破首相の辞任とその後の自民党総裁選挙に向けての期待から株式市場は史上最高値を更新しました。地政学面では、ロシアとウクライナ、イスラエルとパレスチナ紛争が泥沼化する中、6月には米国がイラン核施設への攻撃を行い、各国は軍事力の強化をするなどリスクが高まっています。

このような様々なトピックスがある中、私どもがどのように考え対応し運用してきたか、また今後の展望などについても詳しくご説明の上、皆様にご理解を深めていただきたいと思っております。

パリミキアセットマネジメント
ファンドマネージャー
宇野隆一郎

〈大阪〉

10月18日(土) 13:00～15:00

参加費用等について	会場
定員：25名 ※大阪は対面のみ開催 **参加費：無料　※交流会にご参加の場合は2,000円**	**パリミキ　アメリカ村店2Ｆサロン** 大阪府大阪市中央区西心斎橋2丁目10番30号 蔵人西心斎橋ビル2階 （大阪メトロ「心斎橋駅」7番出口　徒歩5分）

〈東京〉

10月24日(金) 18:30～20:30

参加費用等について	会場
定員：対面【25名】　ネット中継【30名】 **参加費：無料　※交流会にご参加の場合は2,000円**	**パリミキアセットマネジメント 会議室** 東京都中央区銀座二丁目８番４号　泰明ビル2F （ビル1階はカフェ・ベローチェです） （東京メトロ有楽町線「銀座一丁目駅」11番出口　徒歩1分） （東京メトロ銀座線、丸ノ内線、日比谷線「銀座駅」 A13番出口　徒歩4分）

お申込みにつきましては、HPでご案内いたしております

「株価上昇は続くのか？米国経済の行方と運用戦略」
（経済評論家 岩本沙弓様とのコラボセミナー）

米国が相互関税や国家非常事態宣言を通じて目指す政策とは何か。為替政策・付加価値税（VAT）の扱い、そして米財政赤字やドルのゆくえ—。最新のIMF世界経済見通しや米財務省為替報告書を踏まえ、トランプ政権の強硬な通商政策とその影響を読み解き、今後の米国経済の行方と運用戦略について解説します。

金融コンサルタント
経済評論家
岩本沙弓氏

パリミキアセットマネジメント
ファンドマネージャー
宇野隆一郎

〈東京〉

11月11日(火) 18:30～20:30

参加費用等について	会場
定員：70名　　参加費：無料	**Book Lounge Kable** 東京都中央区日本橋兜町7-1　「KABUTO ONE」3階 （東京メトロ東西線・日比谷線　茅場町駅直結）

〈大阪〉

11月18日(火) 18:30～20:30

参加費用等について	会場
定員：70名　　参加費：無料	**ハートンホール日本生命御堂筋ビル** 大阪市中央区南船場4-2-4 日本生命御堂筋ビル12F （地下鉄御堂筋線心斎橋駅3番出口より徒歩約2分）

お申込みにつきましては、HPでご案内いたしております

お客様サポートチームからの大切なお知らせ

「取引残高報告書(定期交付)」・「ご投資状況のお知らせ」の交付について

「取引残高報告書(定期交付)」・「ご投資状況のお知らせ」を電子交付・郵送いたしました。

今回は2025年7月～9月末までにお取引（売買等）があったお客様および期間中にお取引がなくても残高がある場合には、最後のお取引から１年が経過したお客様が送付・電子交付の対象となっております。

「取引残高報告書(定期交付)」は、お預かり残高と取引の明細を定期的にご報告する法定書類です。

「ご投資状況のお知らせ」は、ご投資金額に対する報告書作成時点の運用損益を記載したものです。

これまでのお取引状況および運用状況（トータルリターン）をご確認ください。

特定口座の源泉徴収区分の変更について

特定口座をご利用いただいているお客様の、2026年適用分源泉徴収区分の変更受付を開始しております。

「源泉徴収あり・なし」の変更をご希望のお客様は、2025年12月1日（月）までに、お電話にて「特定口座源泉徴収選択届出書」をご請求くださいますようお願い致します。

■ご注意■

・源泉徴収区分の変更は、2026年中の解約や配当金等の受入れの受渡完了後は変更できません。

・源泉徴収区分は、お客様からのお申し出がない場合は、前年の区分が継続されます。

ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。
投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者（投資者）の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

ファンドにかかわる費用

当社が扱う投資信託に、購入・換金手数料および信託財産留保金はありません。

当資料のご利用にあたっての注意事項

■当資料は株式会社パリミキアセットマネジメントが運用するファンドの運用状況をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）等をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
■当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
■当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
■当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
■投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
■当社でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
■当資料中に示された数値は、作成基準日現在において入手可能なデータを参照し、弊社にて計算しております。

毎月つみたてスケジュール

次回引落日は、**11月5日（水）**です。

11月分金額変更・中止・再開締切日･･･ **10月22日（水）**

12月分新規・口座変更締切日･･**10月31日（金）**

※毎月つみたてサービスの金額変更・中止・再開については、お電話・マイページ上（再開を除く）でも承っております。
再開につきましては、書類でのお手続きとなりますので、お電話・マイページ上・ホームページ上にて用紙をご請求ください。

株式会社パリミキアセットマネジメント
お客様サポートチーム
（受付時間：平日9時～17時）
お客様専用通話料無料ダイヤル:0800-5000-968
E-mail: support@pmam.co.jp